

2025年日本国際博覧会 廃棄物管理及び廃棄物収集運搬処分業務 選定委員会結果について

1. 審査手法

事業者（1者）から提案のあった内容について、4名の選定委員による審査を行い、最優秀提案事業者を選定いたしました。なお、審査にあたっては、2024年1月9日に事業予定者選定委員会を実施し、選定委員会委員による採点（100点満点）を行いました。

2. 審査結果

(1) 最優秀提案事業者（契約候補者）

日本通運株式会社

評価点 70点

（提案金額・税込）

①廃棄物管理業務 1,784,883,071 円

②廃棄物収集運搬業務及び廃棄物処分業務 155,116,929 円

(2) 提案事業者

日本通運株式会社

3. 選定委員会議事要旨

- ・同様のイベントの実績があることから、業務への理解度がある。
- ・今後、廃棄物管理実施計画の策定等にあたっては、協会と密に連携協議して進めていってほしい。
- ・国内の基準を満たすだけでなく、どこの国に見せても恥ずかしくない労働環境を目指してほしい。
- ・会場内から排出するごみはその量も多く多岐にわたるが、排出削減を含めたごみ処理について過去の博覧会と比較してより改善できるよう進めてほしい。

4. 選定委員会委員（五十音順、敬称略）

氏名	所属・役職	選定理由
阿多 博文	弁護士法人興和法律事務所 弁護士	2025年日本国際博覧会協会において、法務担当弁護士に選任されている。協会の契約や内規も充分熟知していることから、提案内容について法的な観点で評価いただくため。
木村 茂晴	大阪府環境農林水産部 循環型社会推進室循環課長	万博開催自治体の廃棄物・資源循環行政の立場から、提案内容について総合的に審査いただくため。
田辺 清人	株式会社集客創造研究所 代表 （2025年日本国際博覧会 会場運営プロデューサー補佐）	万博運営の立場から、提案内容について総合的に審査いただくため。
原田 禎夫	同志社大学経済学部 准教授	環境・リサイクル分野の専門家の立場から、提案内容について総合的に評価いただくため。

以上